



# ORCA MULTI REACTOR オルカ マルチリアクター

この度はオルカマルチリアクターをお買い上げいただき、誠に有り難うございます。取扱説明書の内容を良くご理解いただき、ご使用ください。

- ・製品をご使用する前に、破損、亀裂などが無い事を確認してからご使用ください。
- ・設置、通水後しばらくは、正常に作動しているか、水漏れがないかを確認してください。
- ・説明書、保証書は大切に保管してください。

オルカマルチリアクターは活性炭やリン酸などの各種吸着剤を始め、バイオレットやリングろ材などの生物ろ過材を非常に効率よく使用することができます。

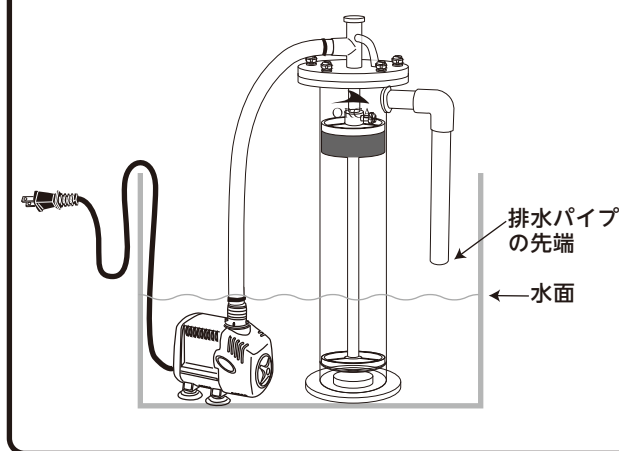
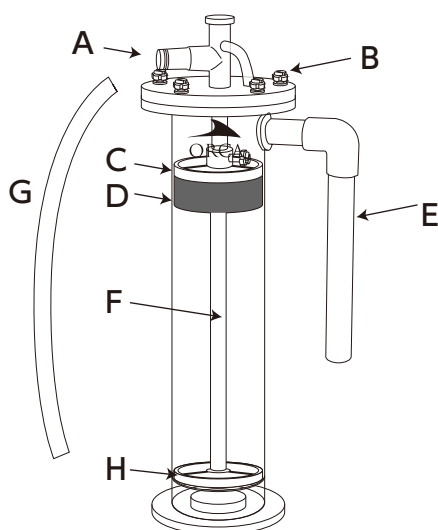
シンプルで機能的なデザインで海水、淡水を問わずご使用いただけます。

## 重要

- ・ご使用になる前に本体に水を入れ、水漏れがないか確認してから設置して下さい。
- ・本体の設置は必ず排水が自然に落下するよう、排水パイプの先端が水面よりも高い場所になるよう設置して下さい。水面よりも下に設置すると排水に圧力がかかり、正常に作動しません。(下図を参照)
- ・サンプ、または水槽の最適な場所に本体を設置して下さい。誤った設置をすると水漏れを起こす可能性があります。

## パーツ名称

- A. フタ (給水アダプタ)
- B. ネジ
- C. スポンジホルダー
- D. スポンジ
- E. 排水パイプ
- F. センターパイプ
- G. シリコンホース
- H. センターパイプホルダー



## 使用方法

1. ネジを緩め、フタ (給水アダプタ) を反時計回りに回転させ、センターパイプごと本体から引き抜きます。メインボディ側に O リングが装着されているか確認してください。(図 1 参照)
2. フタ (給水アダプタ) からセンターパイプを引き抜きます。スポンジホルダーのネジを緩めてセンターパイプからスポンジホルダー、スポンジを取り外します。(図 2 参照)
3. センターパイプをメインボディに戻し、ご希望のメディアを本体に流し込みます。(図 3 参照)

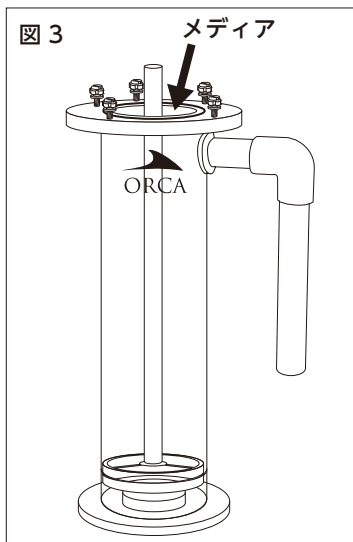
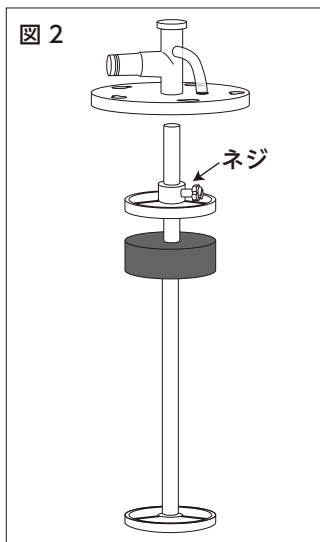
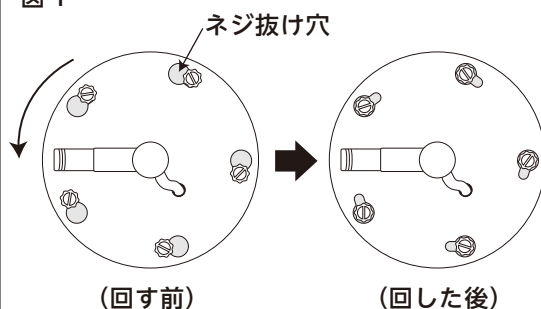
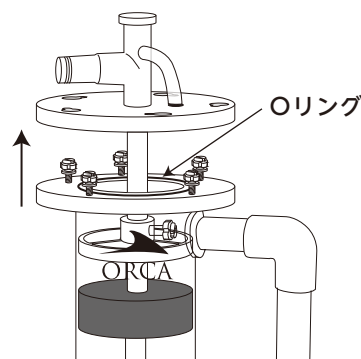


図 1

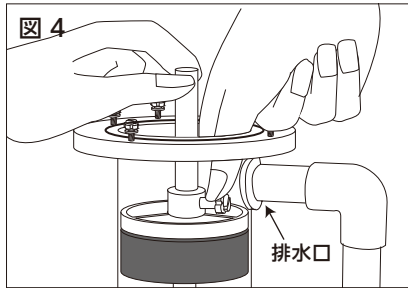


フタを反時計回りに回すと、ネジはネジ抜け穴から通りぬけることができるので、ネジを外さずにフタを取ることができます。

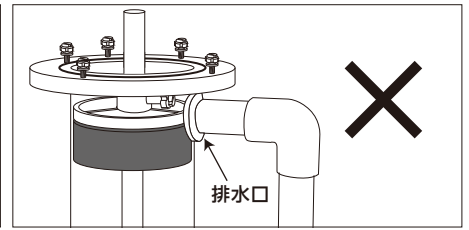
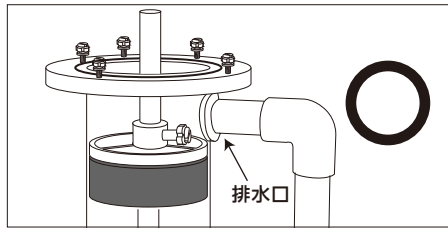


4. スポンジ、スポンジホルダーの順番でセンターパイプに差込み、ネジで固定します。(図4参照)

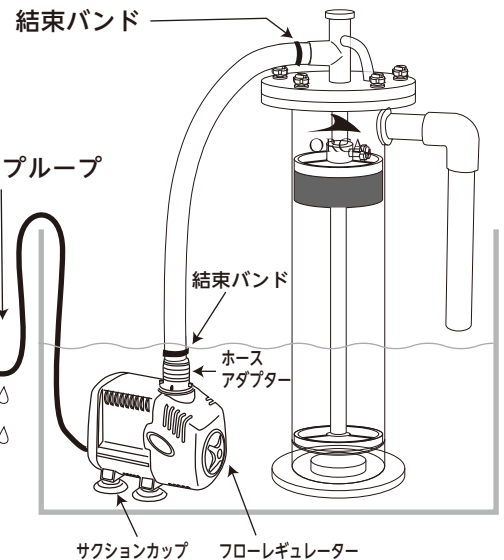
この時、センターパイプを本体から引き上げてしまうと、メディアがセンターパイプの下に入り込んでフタが閉まらなくなりますのでご注意ください。



注意：スポンジやスポンジホルダーは、排水口にかからない位置に設定し、排水の流れを妨げないよう注意してください。



5. フタ(給水アダプタ)をセンターパイプに元どおりに差し、時計回りに回転させて、ネジを緩みのないように締めこみます。
6. シンクラ 1.0 にサクシオンカップを取り付け、ホースアダプターを装着してください。  
(シンクラについては、別添の説明書を参照してください)
7. シリコンホースを使い、シンクラ 1.0 と給水アダプタを繋ぎます。ホースの接続部は外れないように結束バンド等を利用して固定するとより安全に使用いただけます。



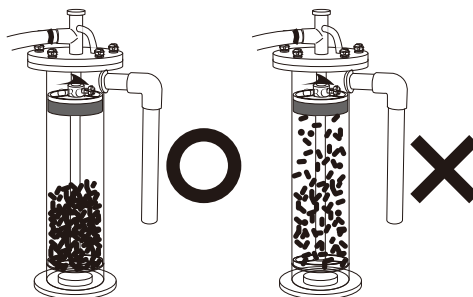
注意：シンクラ 1.0 の電源コードには、水がコードを伝ってコンセントに接触するのを防ぐため、必ずドリップループを設けてください。

8. 本体をろ過槽内に設置してからシンクラの電源プラグをコンセントに接続し、本体に水を給水します。最初はシンクラのフローレギュレーターをほぼ閉めた状態から始め、慎重に流量を調整してください。(別添のシンクラの説明書を参照してください)
9. 設置してからしばらくは正常に作動しているか、水漏れがないかを確認してください。

### 最適な状態

リアクター上部までメディアが流動する場合は流量が強すぎます。

※設置後しばらくは、メディアが水になじんでいないため流動する範囲が大きくなります。



## メディアの使用法

オルカマルチリアクターは以下のメディアの使用に最適です。●メディアは軽く水になじませてから使用することをお勧めします。

ローワフォス  
(リン酸、ケイ酸吸着剤)



ローワカーボン  
(高品質活性炭)



ニュートリフィックス NP  
(バイオペレット) 海水用

排水をプロテインスキマーの給水口に向けるか、目の細かいフィルターでろ過します。



## トラブルシューティング

- Q. 本体とフタの間から水漏れが起こる。
- A. フタのネジをしっかりと締めてください。(締めにくい場合はマイナスドライバーを使用してください。)もしくは、本体上部のOリングにねじれや破損がないか確認してください。

お問い合わせ / E-mail : [info@mmcplanning.com](mailto:info@mmcplanning.com)

輸入・販売元 株式会社エムエムシー企画 〒174-0063 東京都板橋区前野町 6-29-4 Web : <http://aqua.mmccorp.jp/>